

- みんなの知恵と努力と参加によって良好な環境を確保して、これを将来の世代に引き継ぐ -
 [環境基本計画の基本方針4]

11 環境情報の交流

(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概況

環境情報の積極的な提供が求められています。より多くの人々に、環境情報を共有してもらう方法を検討することが重要となります。

市では、地域の自然環境の状況を専門的なデータとして提供するだけでなく、広く市民に役に立つ情報となるよう、わかりやすく提供していくことにしています。

(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

| | | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|----------|
| 整理番号 | 1 | 事業目的・内容等 | | | |
| 事業名・担当課 | | 事業目的・内容等 | | | |
| ホームページの運用 企画部広報広聴課 各部局 | | 市民サービスの向上のため、「西東京市ホームページ」をより充実させて運用した。 | | | |
| | | 内 容 | 【平成14年度】 | 【平成15年度】 | 【平成16年度】 |
| | | アクセス件数 | 279,011件 | 374,195件 | 441,045件 |
| 整理番号 | 2 | 事業目的・内容等 | | | |
| 事業名・担当課 | | 事業目的・内容等 | | | |
| 広報西東京の運用 企画部広報広聴課 | | 市についての市民の主たる情報源である「広報西東京」の情報をより充実させ、わかりやすく、親しまれる広報紙を発行してきた。 | | | |
| | | 【平成14年度】 | 【平成15年度】 | 【平成16年度】 | |
| | | 広報「西東京」の発行 発行部数：83,300部/回 発行回数：24回 (毎月1日と15日の2回) | 広報「西東京」の発行 発行部数：85,000部/回 発行回数：24回 (毎月1日と15日の2回) | 広報「西東京」の発行 発行部数：86,700部/回 発行回数：24回 (毎月1日と15日の2回) | |
| 整理番号 | 3 | 事業目的・内容等 | | | |
| 事業名・担当課 | | 事業目的・内容等 | | | |
| 情報公開コーナーの運用 総務部文書課 | | 積極的な情報公開を行うことにより市政への市民参加を推進するため、田無庁舎・保谷庁舎の情報公開コーナーを市民が利用しやすいように運用してきた。 | | | |
| | | 【平成14年度】 | 【平成15年度】 | 【平成16年度】 | |
| | | 公開請求 45件 | 公開請求 55件 | 公開請求 112件 | |
| 整理番号 | 4 | 事業目的・内容等 | | | |
| 事業名・担当課 | | 事業目的・内容等 | | | |
| 市民参加条例に基づく市民参加の推進 企画部企画課 各部局 | | 「西東京市市民参加条例」に基づき、審議会等への市民公募枠の確保や市民意見提出制度(パブリックコメント)、市民説明会、市民ワークショップなどを実施した。 | | | |
| | | 【平成14・15・16年度】 | | | |
| | | 総合計画策定に係る市民ワークショップ及びまち探検による子どもワークショップを開催。その他各課において実施。 | | | |

12 環境学習の推進

(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概況

各学校では、教科・特別活動・総合的な学習の時間において環境教育を実施しています。

環境省が進める「こどもエコクラブ」は、子どもたちが地域の友達や仲間と一緒に、環境について考えたり、環境保全のための活動に取り組んだりする自主的なグループ学習・実践活動の場であり、市が事務局となって支援しています。



環境講演会の様子(上野 不忍池：環境保全課主催)

社会教育では、公民館等において年数回程度「環境講座」や「観察会」が開催されています。

環境学習の指導者的な役割を果たすことが期待される人材として、東京都の「環境学習リーダー」や環境省の「環境カウンセラー」などがあります。

平成16年度(2004年度)小学生向けの副読本「西東京市の環境」の作成など、環境学習情報の提供を進めました。今後は、市民との環境情報の交流も進めていきます。

環境指標の状況

| 区 分 | 平成14年度値 | 平成15年度値 | 平成16年度値 |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| (1) 環境学習リーダー(東京都)登録者数 | 5人 | 3人 | 3人 |
| (2) 環境カウンセラー(環境省)登録者数 | 4人 | 0人 | 6人 |
| (3) こどもエコクラブ数 | 1団体 | 1団体 | 0団体 |

(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

| | | | | |
|---|--|--|---|---|
| 整理番号 | 1 | | | |
| 事業名・担当課 | 事業目的・内容等 | | | |
| 環境読本の作成・活用 環境防災部 環境保全課 | 西東京市の環境について、自発的な環境保全活動が促進されるよう、また、子どもの頃から環境意識を高めるため、西東京市の環境についての冊子にまとめるとともに、小学4年生を対象に配布を行った。 | | | |
| | | 【平成14・15・16年度】 | | |
| | | 「西東京市の環境」を2,500冊印刷し、小学生等に配布した。 | | |
| 整理番号 | 2 | | | |
| 事業名・担当課 | 事業目的・内容等 | | | |
| 自然観察会の実施 都市整備部 公園緑地課 公民館 (再掲) | 市民を対象とした自然観察会を実施した。 | | | |
| | | 【平成14年度】 | 【平成15年度】 | 【平成16年度】 |
| | | 公園緑地課実施 平成14年11月18日 (都立小峰公園・広徳寺周辺) 晩秋の秋川丘陵の小峰公園・広徳寺周辺を講師の説明を聞きながら散策し、歴史、自然保護について学び、みどりの維持管理について考えた。 市民35人参加 芝久保公民館実施 平成14年8月28日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民65人参加 | 公園緑地課実施 平成15年11月27日 (横浜自然観察の森) 貴重なみどりや動植物が減少しつつある中、みどりの重要性を再認識し雑木林や緑地に生息する、小動物等を観察し、身近な自然を守ることの大切さについて考えた。 市民31人参加 芝久保公民館実施 平成15年8月28日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民43人参加 | 公園緑地課実施 平成16年11月19日 (小山田緑地) 貴重なみどりが減少しつつある中、みどりや生き物が保全されていて、多摩丘陵の原風景が残っている豊かな山野草に恵まれた雑木林や谷戸の田んぼ等を散策し、自然を守ることの大切さを探る。 市民32人参加 芝久保公民館実施 平成16年8月27日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民43人参加 |
| 整理番号 | 3 | | | |
| 事業名・担当課 | 事業目的・内容等 | | | |
| 環境講演会等の開催 環境防災部 環境保全課 公民館 | 市民を対象とした環境講演会や講座を開催した。 | | | |
| | | 【平成14年度】 | 【平成15年度】 | 【平成16年度】 |
| | | 環境保全課 「身近な自然を見直そう」 「スタートは家庭から」 住吉公民館 「農業を知る講座」 「川と自然と生活」 「五感を使って自然とふれあう」 | 環境保全課 「かんきょう実験工作教室」 「かんきょうたんけん隊」 田無公民館 「家庭生活と環境」 住吉公民館 「農業を知る講座」 「川と自然と生活」 「子どものいろいろ体験教室」 | 環境保全課 「食から考える環境」 「身近な生き物から考える環境」 「地球から考える環境」 田無公民館 「家庭生活と環境 part Ⅱ」 住吉公民館 「農業を知る講座」 「川と自然と生活」 「子どものいろいろ体験教室」 |

13 環境保全活動への支援・パートナーシップの推進

(1) 平成16年度(2004年度)環境の状況

概況

<パートナーシップと環境保全活動の推進>

西東京市において、市民と市が協力して行っている環境保全に向けた市民活動としては、ごみゼロ運動(空き缶や空きビン拾いなどの清掃)、公園の清掃(公園管理協力会員)などがあります。

環境保全活動の指導者として貢献できる市民を把握し、活動を広げていくための取り組みが必要です。このことから、市、事業者、市民等各主体のパートナーシップが構築されるよう活動の支援を行います。

多数の団体が環境について活動していますが、環境保全に関する活動分野で特定非営利活動法人として登録されている団体は10団体となっています。また、本市で特徴的な取り組みとして、市と大学との取り組みがあります。西東京市と武蔵野大学(平成14年当時武蔵野女子大学)は相互協定を結び、さまざまな分野で連携を図っています。

環境指標の状況

| 区 分 | 平成14年度値 | 平成15年度値 | 平成16年度値 |
|----------------------------|---------|---------|---------|
| (1) 環境保全分野の特定非営利活動法人(NPO)数 | 6団体 | 6団体 | 10団体 |

(2) 平成16年度(2004年度)環境施策の実施状況

個別事業の状況

| | | | | |
|--|--|------------------------------|--|--|
| 整理番号 | 1 | 協働基本方針は「用語解説」の80頁を参照 | | |
| 事業名・担当課 | 事業目的・内容等 | | | |
| NPO等との協働の推進 市民生活部 生活文化課 各部局 | NPOとの協働を推進することにより、多様な市民ニーズに対応するとともに、様々な地域課題の解決を図るための事業を実施した。 | | | |
| | 【平成14年度】 | 【平成15年度】 | 【平成16年度】 | |
| | NPO講演会の実施 NPOフォーラム「市民活動団体のネットワーク作り」等の開催 市民との協働推進懇談会などの実施 | NPO講演会の実施 協働基本方針・マニュアルの策定 | NPO企画提案事業実施 ・みどりの散策路調査委託 ・子育て支援地域活動 ・NPO見本市 NPO職員研修の開催 | |
| 整理番号 | 2 | 事業目的・内容等 | | |
| 事業名・担当課 | 事業目的・内容等 | | | |
| 大学との相互協定に基づく事業の推進 企画部企画課 各部局 | 武蔵野大学と協働し、まちづくりを進めるために、相互協力に関する協定に基づき、人事交流や人材育成、生涯学習の推進に取り組んでいく。 | | | |
| | 内 容 | 【平成14・15年度】 | 【平成16年度】 | |
| | 附属機関等委員委嘱 | 18名(15審議会等) | 18名(17審議会等) | |
| 相互協力事業 | 実施4件 | 実施12件 | | |